



ら ぶ っ く La·BOOK

4月号

No.46

春一番 新堀金図書館開館



カウンターと書架

リニューアルした堀金図書館は、装いも新たに4月1日(金)に堀金支所の2階に開館しました。常念の山々を望み以前の約3倍の広さとなり、郷土資料室や絵本コーナー、子育て世代に配慮したイクメン室や授乳室等を設けました。また、視聴覚資料やインターネット検索、自動貸出機等も備えた明るく開放的な図書館です。

館内の書架は白を基調とし、カタクリの花と風船が描かれています。カタクリは春にいち早く咲かせるスプリング・エフェメル(春のはかないものたち)と呼ばれ、清楚な想いを、大きな夢と希望をふくらませて飛び立っていく風船に託しています。さらに地域の皆様の生涯学習の場として学習室も完備しており、未永く活用されていく図書館でありたいと願っています。

館内の企画展示等を見ていただき、今後の行事や講演会等にお気軽にご参加していただきたく、職員一同お待ちしております。



こどもとしょかん

04月23日(土) 午前10:30~

こども読書の日おはなし会

05月8日(日) 午後1:30~3:00

講演会「子どもといっしょに絵本で育つ」

講師 亀井智泉さん 100人(先着順)

※申込用紙は各図書館



豊科図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

枕詞「水簾刈る(みすずかる)」の意味



マコモ

「水簾刈る」は、信濃にかかる枕詞として知られています。簾(すず)とは篠竹(すずたけ)のことで、信濃には篠竹が多く自生していたからという説と、江戸時代の国学者賀茂真淵が、万葉集の「水薦刈る(みこもかる)」は「水簾刈る(みすずかる)」の誤りとした説

がありますが、今は、後者が定説となっています。薦(こも)とは、マコモ(イネ科の多年草)のことで、やはり信濃に多かったと言われています。

万葉集には、久米禪師(くめのぜんじ)と石川郎女(いしかわのいらつめ)の問答歌二首があります。

卷二 96 み薦刈る信濃の真弓我が引かばうま
さびて否と言はむかも

卷二 97 み薦刈る信濃の真弓引かずして強作留
わざを知ると言はなくに

明治から大正にかけて、アララギ派の歌人たちは「みすずかる」と読むことを支持していました。詩人 金子みすゞは、ペンネームを「みすずかる」からとったそうです。

<関係資料>

『日本うたことは表現辞典 枕詞編 下』大岡 信/監修 2007

『万葉集』森 淳司/編 2007

『みこも刈る信濃の夏に 講演集』宮崎 莊平/著 1996

『童謡詩人金子みすゞの生涯』矢崎 節夫/著 2007

私と図書館

(60代女性)

昔、私が子どもだったころの学校の図書館は、薄暗くて古本のほこりの匂いがした懐かしい場所である。今日は、何を読もうかとわくわくして図書館に行った。読みたかった本が借りられるとうれしくて、帰宅するとランドセルを放り出し、夢中で読んだものだ。本の中でいろいろな体験をし、学び楽しんだ。しかし、悲しいことに歳を重ねると、読める冊数が減ってきた。これからは一冊を大切に読んでいこうと思う。

私は、詩が好きだ。行間には、作者のいろいろな思いが込められている。また、CDで昔話や朗読を聞くことも楽しい。朗読の研修会での講師の話が忘れられない。

「今は合成音声で、間違いもなく何度でも再生できる。しかし、朗読は人が人に温もりのある感情、思いを伝えることができる。これは、機械にはできないことである」と。

今の図書館は、明るく清潔、静かで心地良い。私は、この空間の中にいる全ての人の顔が好きだ。

皆がこのような真摯な目をしていたら、今の世の中もっと平和でいられるかもしれないと思う。



3月貸出ランキング

一般書

- 1 火花／又吉直樹
- 2 あの家に暮らす四人の女／三浦しをん
- 〃 はだれ雪／葉室 麟
- 4 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 王とサーカス／米澤穂信
- 〃 掟上今日子の退職願／西尾維新
- 〃 神様のカルテ 3／夏川草介
- 〃 キャロリング／有川 浩
- 9 明日の子供たち／有川 浩
- 〃 掟上今日子の挑戦状／西尾維新
- 〃 おとめの流儀。／小嶋陽太郎 他多数

児童書

- 1 ぴょーん／まつおか たつひで
- 2 じゃあじゃあびりびり／まつい のりこ
- 〃 どんどこどん／和歌山静子
- 〃 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 〃 おしくら・まんじゅう／かがくい ひろし
- 6 おつきさまこんばんは／林 明子
- 〃 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 8 うめじいのたんじょうび／かがくい ひろし

AV資料

- 1 みんなのあつみの／安曇野市農業再生協議会
- 2 安曇野市歌 水と緑と光の郷／安曇野市
- 〃 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督
- 4 カーズ／ジョン・ラセター監督
- 〃 コクリコ坂から／宮崎吾朗監督
- 〃 塔の上のラプンツェル／ネイサン・グレン 他監督
- 7 いきものばかり／いきものがかり 他多数

三郷図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『子どもはみんな問題児。』

中川季枝子／新潮社

みなさんがよく知っている『ぐりとぐら』その作者、なかがわりえこさんが、子育て中のお母さんに向けて書いた45のメッセージ。

短くわかりやすい文章で、すんなりと読むことができます。

表紙

子どもさんの絵本を選ぶ時、いっしょに手にとって見てください。懐かしいイラストと、励まされる言葉に出会えます。

児童書

『おはなみ』

くすのきしげのり作 まるやまあやこ絵
／あかね書房

桜の季節。美しい花を咲かせるサクラに負けないように、気持ちよく花を見上げることができるよう、自然と良い関係を築いていきたいと考えさせられる本です。

まるやまあやこさん(安曇野市出身)の心あたたまる絵に癒されます。

表紙

4月23日は子ども読書の日です



国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、4月23日が「子ども読書の日」と定められました。これは、シェイクスピアとセルバンテスの命日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることなどにちなんだものです。

今年の標語は「**四角い本に まある心**」です。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※
TV番組「宮崎美子のすずらん本屋堂」(BS11)がありました。3月18日のゲストは池上彰さん。「本は迷ったら買う」「本を常に持ち歩く」「精神において、老いることはない」との言葉に感銘を受けました。さらに「これからの時代を生きるには、問いを作っていく良い質問ができる力」が必要かも。

